

梨大合唱団と私

佐々木基之

物で栄え、心で滅びるという言葉がありますが、技術で栄え、心で衰退していくのが今日の音楽界ではないでしょうか。ヒンテミツトの「今日の音楽教育を根本的に改革しない限り、世界平和は永久に来ないだろう」という遺言が思い起されたりません。

私のような老骨が若い学生達とおつき合い出来るのも、ハーモニーと音楽を通じて私の人間性と彼等の人間性が触れ合えばこそと思います。その意味でこのような私信を敢えてお目にかけることにいたしました。

先生、夏合宿では本当にありがとうございました。普段だれがちな皆も、先生のお力で生まれ変わったように、ハーモニーの中で育っていく姿が手にとるように、僕の目に映りました。ハーモニーは人の心を豊かにし、人を人として生かしてくれる……先生のおっしゃった通りですね。

先生があ帰りになりました夜、合宿の反省会が開かれました。その場で、かなりの一年生から、「ハモること、きくということがわかつきました。歌うこと、ハーモニーの中にいることが、こんなにも素晴らしいものとは知りませんでした。」という声が聞かれ、この合宿で、すでに一年生の心に合唱のよろこび、ハーモニーの大切さが伝わったことは、僕としても本当に嬉しく疲れなど、ふつ飛んでしまいました。この合宿の成果を不動の礎えとして、定演、東京公演に向けて大きく大きく成長していきたいと思います。

今年も言葉を語る曲が沢山あります。日本の心を歌った山田耕筰の歌をうたっていると、心の底から涙があふれてきます。日本人の心……僕たちがハーモニーを通して守っていかなくてはなりませんね。くずれてゆく日本語、日本人の心を梨大合唱でよみがえらせてゆくように、頑張っていきます。

先生、お体にはくれぐれもお気をつけ下さい。先生のお心は梨大合唱の心ですから……次に練習にお越し下さる日を首を長くしてお待ちしております。

(学生指揮者)

お手紙ありがとうございます。今も、というより帰ってから毎日合宿中のテープをきいています。皆さんのがたたかい心すかいに包まれて夢のように過ぎてしまった五日間、その気分をずっともって暮しています。

いつも私の足りない点をカバーしてもらつてありがとうございます。私でも八時間の遠泳や、ちょっとした屏など手をかけて一飛びで越えたり、険しい崖を登ることなどやれたのに、今では鉄棒に30秒ぶら下るのがやつと、勿論頭の鈍さ等、若い人からは見ていられないことでしょう。本来なら人の前に立てる人間ではないこともあります。しかし無心になると音楽が自然に流れ、私自身が聴き入つて涙することも屢々あります。文明は自然を破壊してはいてもテープレコーダーはありがたいもので、私が時々喋っているところをきいていると、人間の中に神があることがよく分ります。私は何もかも忘れているのに必要なことは適切な言葉が続いて流れ出ています。私自身聞いていて訓えられることがある。学問は人を高くしても、人智の範囲は限りがあります。私は全てを神に託して81歳の今を生きています。

何の準備もなしに、五日間を決められた時間通りに行動していたのに、テープを聴いてみると不思議なことに曲目が大半出来ているのに驚いています

佐々木生

本年は、東京公演の純益金をアジア協会、アジア友の会を通じてインドへ井戸を贈る運動に献金いたします。

日本はまだまだ豊かな国ですが、インドでは貧富の差が甚だしく、栄養失調や餓死線上をさまよっている人達が多勢いると聞きました。ハーモニーの中間、土屋菊男氏（関西学院高等部教諭）のインド旅行記を読んで胸を打たれ、井戸堀りの手助けをしたいと思いました。皆様の御支援のお蔭でそれが叶います。ありがとうございました。